PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

S. YAMAMOTO OSAKA

07-175126

(43)Date of publication of application: 14.07.1995

(51)Int.CI.

G03B 17/50

G03B 17/00

G03C 3/0D

(21)Application number: 05-318123

(71)Applicant: FUJI PHOTO FILM CO LTD

(22)Date of filing:

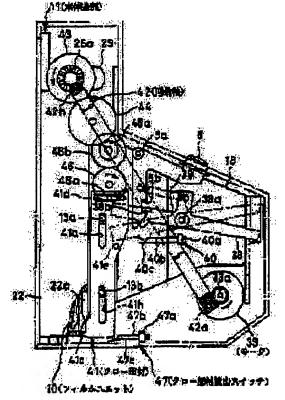
17.12.1993

(72)Inventor: AOSAKI KOU

(54) INSTANT CAMERA

(57)Abstract:

PURPOSE: To stabilize the stopping position of a claw member with an inexpensive mechanism. CONSTITUTION: The rotation of a motor 33 is transmitted to a gear 46 driving the claw member 41 via a rotary shaft 42 and gears 43, 44, 45a and 45b. The claw member 41 is connected to the gear 46 by an engaging hole 41d and an engaging pin 46a and vertically slid by one rotation of the gear 46. When the claw member 41 is slid downward after its upward sliding for feeding a film unit 10 is completed and the pin 46a reaches a position shown by a 2-dotted chain line, the claw member is detected by a crow member detecting switch 47. 22-It issues a motor stopping signal to stop the rotation of the motor 33. The gear 46 is continuously rotated a little by inertial force and the claw member 41 is stopped in an initial position shown by the figure.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's d cision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Dat of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

・ 2003年11月12日 21時00分

(18)日本国特殊 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出頭公開發号

特開平7-175126

(43)公開日 平成7年(1995)7月14日

(51) Int.CL*		識別配号	庁內整理番号	P I	技術表示箇所
G08B	17/60	A			
	17/00	Ţ			
G08C	3/00	510 Y			

審査論成 未請求 請求項の数1 OL (全 7 頁)

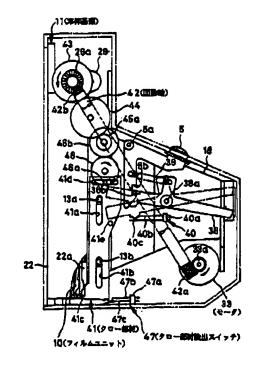
、(71)出職人 000005201 (21)出票番号 特展平5-918123 富士写真フイルム株式会社 (22)出頭8 平成6年(1993)12月17日 神奈川県南足柄市中昭210番地 (72)発明者 青崎 耕 埼玉県朝護市泉水3-13-45 宮土写真フ イルム株式会社内 (74)代理人 中理士 小林 和意

(54) [発明の名称] インスタントカメラ

(57)【要約】

【目的】 クロー部材の停止位置を低コストな機構によ り安定させる。

【構成】 モータ33の回転は、回動軸42, ギヤ4 3、44、45 a、45 bを介してクロー部材41を駆 動するギヤ48に伝えられる。クロー部材41は、係合 六41dと係合ピン48aでギヤ48に連結されてお り、ギヤ46が1回転することにより上下方向にスライ ドする。クロー部材41は、フイルムスニット10を送 り出す上方へのスライドを終えて下方にスライドすると きに、ピン46 aが2点鎖線で示す位置に達するとクロ 一部材検出スイッチ47により検出される。クロー部材 検出スイッチ47はモータ停止信号を発してモータ33 の回転を停止する。ギヤ46は慣性力により僅かに回転 を続け、クロー部材41は図に示す初期位置に停止され **5**.



(2)

特開平1-175128

1

【特許請求の範囲】

【體求項 1 】 露光済みの自己現像型フイルムユニット を露光位置から、現像液の展開と排出とを行なう展開ロ ーラまで送出するクロー機構を備えたインスタントカメ ラにおいて、

前記クロー機構は、片面に係合ビンが形成されモータに より回転するクランク板と、前記目己現像型フィルムユ ニットを掻き上げるクロー爪と前記クランク板の係合ビ ンに係合する係合穴とを有しクランク板の回転により上 係合ビンが死点に達する少し前で前記クロー部材を検出 し前記モータを停止するクロー部材検出手段とからなる ことを特徴とするインスタントカメラ。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明はインスタントカメラに関 し、詳しくは、低コストに製造し提供することができる インスタントカメラに関するものである。

[0002]

【従来の技術】自己現像型のフィルムユニットを使用す 20 とする。 るインスタントカメラは、撮影したその場でプリント写 真が得られるという大きな特徴をもっており、種々の用・ 途に利用されている。中でもモノシートタイプのフィル ムユニットを利用するインスタントカメラでは、シャッ タボタンを押圧して露光が完了すると、これに連動して 周知のクロー部材がフィルムバックに形成された切欠き 内を移動し、フイルムバック内に積層された最上層のフ イルムユニットを掻き出す。この掻き出されたフイルム ユニットは、一対の展開ローラによりポッド部が裂開さ れ、このボッド部に内蔵された現像処理液が露光面に展 30 とから構成したものである。 関されながらカメラ外部に排出される。 この時点でフィ ルムユニットは必要な処理が完了しており、所定時間の 経過後にプリント写真が得られるようになっている。

【0003】このようなインスタントカメラのフィルム ユニット送出し樹樽は、例えば本出履人による寒間平2 -109344号公報等で知られているように、露光完 了後にモータを一定方向に駆動し、クロー駆動機構及び 展開ローラ駆動機構を介してクロー部材及び展開ローラ を作動させている。そして、露光済みのフィルムユニッ トをフィルムバックから掻き出し、その先端を展開ロー 40 ラに押し込んだ後には、次回の撮影のためにクロー部材 を初期位置に戻しておく必要がある。このため、クロー 部材の作動は、フイルムユニットの送出してとに 1 回転 してモータの駆動停止のタイミングを検出する1回転検 出ずやによって同期がとられており、展開ローラの駆動・ 中にクラッチ機構によってクロー部材をクロー駆動機構 から切り離し、フイルムユニットのカメラ外への排出が 完了した時点で初期位置に戻される構造となっている。

[0004]

ムを収納したレンズ付きフィルムユニットが普及してい る。このレンズ付きフィルムユニットは安価で、購入後 すぐに使用できる手軽さが受けている。前述したインス タントカメラをレンズ付きフィルムユニットと同構想の 使切り型とする場合には、製造コストの削減が必要とな る。この使切り型インスタントカメラでも、撮影済みの フィルムユニットを排出する際にはクロー部材を用いる てととなるが、コスト低減のために1回転検出ギヤ及び これを検出するための1回転検出用の基板や、モータか 下にスライド移動するクロー部材と、前記クランク板の 10 らの駆動力を切り離すクラッチ機構等を設けることがで きない。そのため、たんにクロー部材の位置を検出して モータを停止させても停止後にもギヤがオーバーランし てしまい、クロー部材の停止位置にバラツキが生じて安 定したフィルムユニットの送出しができないという問題 がある。

> 【0005】本発明は、上記問題点に鑑みてなされたも ので、安価で簡単な構造を用いてクロー部材の停止位置 のバラツキを少なくし、安定したフィルムユニットの送 出しができるインスタントカメラを提供することを目的

[0008]

【課題を解決するための手段】上記問題点を解決するた めに、本発明は、クロー機構として片面に係合ビンが形 成されモータにより回転するクランク板と、自己現像型 フィルムユニットを掻き上げるクロー爪と前記クランク 板の係合ピンに係合する係合穴とを有しクランク板の回 転により上下にスライド移動するクロー部材と、前記ク ランク板の保合ビンが死点に達する少し前で前記クロー 部材を検出し前配モータを停止するクロー部材検出手段

[0007]

【作用】シャッタボタンが押圧されてフィルムユニット に越光が行なわれると、モータが作動を開始してクラン ク板を回転させる。クランク板の係合ビンに係合穴で係 合したクロー部材は、クランク板の回転により上方向に スライド移動する。クロー部材のクロー爪は、フイルム ユニットの下端部を掻き上げて上方に送出する。このフ イルムユニット送出動作の間にもクランク板は回転を続 けて係合ビンは上死点に達し、次に下死点に向かって回 転を始める。クロー部材は下方に向かってスライド移動 する。係合ビンが下死点に達する少し手前で、クロー部 材はクロー部材検出手段により検出され、モータが停止 される。クロー部材は、モータやクランク板が慣性力に より回転するのを利用して僅かに移動し、下死点付近で 停止する。

[0008]

【実施例】使切り型インスタントカメラの外観を示す図 2において、使切り型インスタントカメラ2は、撮影機 機等が内蔵されたカメラ本体3とこれを収納する外ケー 【桑明が解決しようとする課題】ところで、予めフイル(50)ス4とから構成されている。カメラ本体3には、シャッ

タレリーズ操作を行うシャッタボタン5、撮影範囲を視 認するためのファインダ8及び発光部7aを有するスト ロボ装置7や、ストロボ装置7への充電を行う充電開始 スイッチ8、撮影開口9等が設けられている。また、カ メラ本体3の上面には、撮影済みのフィルムユニット 1 0が排出される排出口11が設けられている。外ケース 4には、カメラ本体3に設けられた撮影部材や操作部材 を露出させるための穴が形成されている。

3

【0009】カメラ本体3の縦断面図である図3に示す ように、カメラ本体3は、シャッタ機構等の提影機構が 10 ン5とレリーズレバー38とは、それぞれ軸着部5a. 組み付けられる本体基部13と、この本体基部13に前 面側から被せられてカメラ本体3の外殻となる前カバー 14と、本体基部13と前カバー14とに係合してカメ ラ本体3の背面側を覆う裏蓋15とから構成されてい る。本体基部13は不透明な樹脂で成形されており、光 韓17上に撮影光路を覆う遮光筒18が形成されてい る。この遮光筒18の前部には、撮影レンズ19とシャ ッタ羽根20とが租付けられたレンズホルダ21が取り 付けられている。また、本体基部13には、フィルムユ・ ニット10を複数枚積層して収納するフイルムユニット・20 収納室22が一体に設けられている。 このフィルムユニ ット収納室22は、フイルムパックを用いずに直接フイ ルムユニット10を収納するもので、進光筒18との違 接部にはフィルムユニット10への露光範囲を決定する アパーチャー23が形成されている。

【0010】フイルムユニット収納室22の上面には、 撮影されたフィルムユニット10を排出するための排出 □25が設けられており、排出□25の更に上部には、. フィルムユニット10を挟み込んで排出するとともに、 露光面に現像液を展開する展開ローラ26、27が配置 30 されている。また、展開ローラ26。27の端部にはギ ヤ28、29 (図4参照) が固着されており、このギヤ 28.29同士は噛合されているため展開ローラ26. 27は逆方向に回転するようになっている。

【0011】展開ローラ26.27の更に上部には、前 カバー14に一体に設けられたフィルム通路31が配置 されており、とのフィルム通路31が前述の排出口11 に連なっている。そして、フィルムユニット10は、フ イルムユニット収納室22の排出□25と展開ローラ2 8,27の間と、排出通路31とカメラ本体3の排出口 40 11とを経て外部に排出されることとなる。

【0012】前カバー14は不透明な樹脂で成形されて おり、前述したストロボ発光部7a、シャッタボタン 5. ファインダ8等を露出させるための穴が設けられて、 いる。また、前カバー14を本体基部13に被せた時に 進光筒18の下部にできるスペースには、展開ローラと クロー部材とを駆動するモータ33と、このモータ33 を制御する駆動回路及びストロボ回路等が設けられたブ リント基板34が配置されている。

【0013】裏靈15は、不透明な樹脂で成形されてお 50 クロー爪41cが設けられている。

り、本体基部13の背面側に取り付けられてフイルムユ ニット収納室22を遮光する。また、裏蓋15の内側に は樹脂製の圧板38が取り付けられ、フィルムユニット 収納室22に入ってフイルムユニット10を背面側から 押圧するようになっている。

【0014】本体基部13の側面図である図1に示すよ うに、遮光筒18の側面にはシャッタボタン5と、この シャッタボタン5に連動してシャッタレリーズを行うレ リーズレバー38とが組付けられている。 シャッタボタ 388により回動自在とされており、両者はバネ39に よって連結され、更に切欠5bと突片38bとにより係 合されている。そして、シャッタボタン5が押圧される と切欠5bと突片38bとの係合が解除され、レリーズ レバー38がバネ39の付勢により軸着部38aを中心 **に反時計方向に回動してシャッタ羽根20を蹴飛ばし、** フイルムユニット10への露光を行うようになってい

【0015】また、レリーズレバー38の下方には、シ ⇒ ッタレリーズが行われたことを検出してモータ始動情 号を発生するレリーズ検出スイッチ40が配置されてい る。このレリーズ検出スイッチ40は、絶縁性のある樹 脂等で成形されたホルダー40aに一対の薄板状の金属 接片40日、400を保持したものである。レリーズレ バー38により上方の接片40bが押圧されて変位し下 方の接片40cと接触すると、前述のモータ始動信号が 発生され、ブリント基板34の駆動回路を介してモータ 33が回転される。

【0018】また、フィルムユニット収納室22の側方 には、展開ローラ26,27とクロー部材41とを駆動 する駆動機構が設けられている。図4に示すように、途 光筒18の下部に配置されたモータ33の回転は、回動 軸42を介して展開ローラ28に伝えられる。この回動 軸42の両端には、モータ33に固着されたウォームギ ヤ33aに噛合するギヤ42aと、展開ローラ26に固 着されたかさ歯車26 aに鳴合するかさ歯車42 bとが 形成されており、モータ33の回転を減速して展開ロー ラ26に伝える。また、展開ローラ26には、かさ歯車 26aの他にギヤ43も固着されており、このギヤ43 の回転はギヤ44、45a、45bを介してクロー部材 41を駆動するクランク板であるギヤ46に伝達され

【0017】クロー部材4】には、縦方向に2つのスリ ット41a、41bが形成されており、このスリットに は本体基部13に設けられたピン13a.13bが挿通 されて、クロー部材41を上下方向にスライド自在とし ている。また、クロー部材41の下部には、フイルムユ ニット収納室22に形成された切欠き22a内を移動し てフィルムユニット10の下端線に当接して掻き上げる (4)

【0018】このクロー部材41と前記ギヤ46との連 結は、クロー部材41の横方向に形成された長穴の係合 六41 dと、ギヤ48に形成された係合ビン48 aとの **増速により行われる。これにより、ギヤ46が回転する** 際の係合ビン48aの移動で、図1に示す下死点位置か 5図5に示す上死点位置の間をスライド移動する。な お、図1に示すクロー部材41が最も下方にある下死点 位置がクロー部材41の初期位置となっている。

5

【0019】また、クロー卸材41の下方にはクロー部 検出スイッチ47は、上述のレリーズ検出スイッチ40 と同様の形状をしたもので、樹脂等の絶縁材で成形され・ たホルダ47gに一対の薄板状の金属接片47b、47 cを保持したものである。そして、上方の接片47bが クロー部材 4 1 の下端部に押圧されて変位して下方の接 片47cに接触するとモータ停止借号が発せられ、プリ ント基板34の駆動回路を介してモータ33の回転が停 止される。

【0020】クロー部材41は、ギヤ46の係合ビン4 8aが下死点に達する少し手前、すなわちクロー部材4·20 1が初期位置までスライドしていない図6に示す位置に あるときに、クロー部材検出スイッチ47で検出される ようになっている。これにより、クロー部材検出スイッ チ47からの検出信号でモータ33が停止されると、ギ ヤ48は慣性力により僅かに回転を続け、クロー部材4 1を二点鎖線で示す初期位置に停止するようになってい る.

【0021】また、クロー部材41の裏側にはレリーズ レバー38の端部と当接するピン41eが形成されてい ット10を送り出す方向へ移動するときに、レリーズレ バー38の端部と当接してレリーズレバー38を時計方 向に回動しシャッターチャージを行うようになってい る。

【0022】次に、上記実施例の作用について説明す・・ る。摄影者は、使切り型インスタントカメラ2を保持・・ し、背面側の接眼側ファインダ(図示せず)を覗いて被 写体を確認する。なお、撮影条件が室内等の場合は、ス トロボ充電スイッチ8を押下してストロボ装置7への充 電を行い、充電終了を示すパイロットランプ(図示せ ず)を確認する。そして、シャッタボタン5を押下する とストロボ発光部7 a からの発光と同時に、シャッタボ タン5とレリーズレバー38との係合が解除され、レリ. ーズレバー38はバネ39の付勢により反時計方向に回 動してシャッタ羽根20を厳飛ばし、フィルムユニット 10への腐光を行う。

【0023】レリーズレバー38の回動により、レリー ズ検出スイッチ40が作動されるとモータ始動信号が発 生し、ブリント基板34の駆動回路を介してモータ33

•

転を開始すると、モータ33のウォームギヤ33aと回 動輪42のギヤ42aとの噛合により回動輪42が回転 し、回動軸42のかさ曲車42bに嚙合したかさ歯車2 8 a により展開ローラ28が反時計方向に回転する。 こ の時、もう一方の展開ローラ27はギヤ28,29同士 の鳴合により時計方向に回転する。

6

【0024】展開ローラ26の回転に伴いギヤ43も反 時計方向に回転され、その回転はギヤ44.45a.4 5bを介して展開ローラを駆動するギヤ48を時計方向 材検出スイッチ47が配置されている。このクロー部材 10 に回転する。クロー部材41は、ギヤ46の回転に伴い 移動する係合ピン48aにより、スリット41a.41 bとピン13a. 13bに沿って図5に示す位置までス ライドされる。との時、クロー部材41のクロー爪41 cは、フイルムユニット収納室22亿形成された切欠き 22 a内を移動してフイルムユニット10の下端線に当 接して上方に掻き上げ、フィルムユニット10は、排出 □25と展開ローラ26、27間とフィルム通路31と 排出口11とを経て、カメラ本体の外部に排出される。 また、レリーズレバー38はクロー部材41のピン41 eによって時計方向に回動されてシャッタチャージが行 われる。

【0025】フィルムユニット10を展開ローラ28. 27間に送り出したクロー部材41は、ギヤ46の回転 により下方に向かってスライドされる。そして、クロー 部材41が図6に示す位置に達すると、クロー部材41 の下端縁がクロー部材検出スイッチ47の上方の接片4 7 b に当接して変位させ、下方の接片47 c と接触させ ・る。これによりモータ停止信号が発生し、ブリント基板 34の駆動回路を介してモータ33が停止される。そし る。このピン41eは、クロー部材41がフィルムユニ 30 て、モータ33が停止された後、ギヤ46は慣性力によ り若干回転を続け、クロー部材41は図1に示す初期位 置に停止される。なお、クロー部材41は、長大の係合 六4 1 d と係合ピン4 8 a とにより係合され、係合ピン 46 aが下死点にあるときを初期位置としているので、 製造、組立て時のバラツキ等によりモータ33やギヤ4 6の慣性回転の状態が異なっても、クロー部材41は図 6に2点鎖線で示すように大きな位置ずれが発生しない ため、安定したフィルムユニット10の送出しが可能で ある.

> 【0026】なお、上配実施例では、モータの駆動力を 展開ローラに伝える手段として両端にウォームギャとか さ歯車とが形成された回動軸を用いたが、例えばモータ の回転方向を実施例と逆にしたい場合には、展開ローラ と回動軸との間にもう1つギヤを介在させてもよい。ま た、本発明は、複数枚のフィルムユニットを収納したフ イルムバックを装填する一般的なインスタントカメラに 使用するととも可能である。

[0027]

【発明の効果】以上説明したように、本発明のインスタ が回転される。まずモータ33が図1中で時計方向に回 50 ントカメラでは、クロー部材を駆動するモータの停止タ

特開平7-175126

(5)

イミングの位置をクランク板の死点の少し手前としたの *【図5】クロー部材のフィルムユニット送出し位置を示 で、モータ停止後のクランク板の慣性力によりクロー部 材が移動して、クランク板の死点位置で停止することが できる。また、何らかの理由によりクランク板の慣性力れる位置を示す説明図である。 が異なってモータ停止後のクロー部材の移動量が変わっ ても、死点でのずれは僅かであるため問題なく、安定し たフィルムユニットの送出しができる。また、僅かな部 品点数と簡単な機構であるので低コストに製造すること ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本体基部の側面図である。

【図2】便切り型インスタントカメラの外形を示す糾視 ** 図である。

【図3】カメラ本体の縦断面図である。

11(本体基础)

22-

10(フィルムユニット)

【図4】クロー部材及び展開ローラの駆動機構の構成を 示す斜視図である。

す説明図である

【図8】クロー部材がクロー部材検出手段により検出さ

【符号の説明】

2 便切り型インスタントカメラ

10 フイルムユニット

28, 27 展開ローラ

33 モータ

10 42 回動軸

41 クロー部材

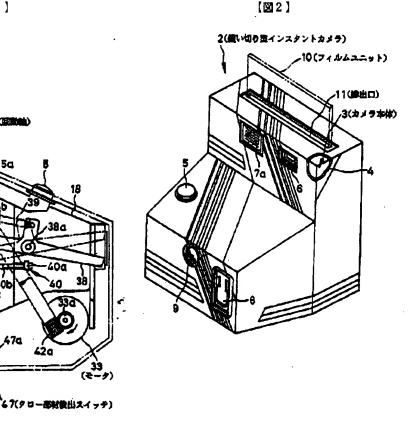
41d 係合穴

48 ギヤ

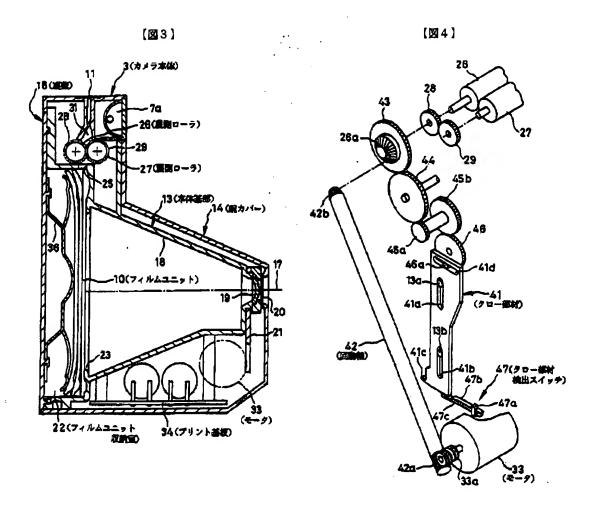
46a 係合ビン

47 クロー部材検出スイッチ

【図1】



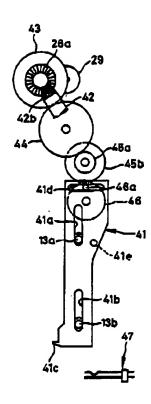
(6)



特別平7-175126

(7)

【图5】



[図6]

